

●今後の本庄市に必要なテーマ

健 康

～人も地域も元気で健康な都市 本庄～
の実現をめざして

老若男女、市民一人一人にかかわる、

暮らす

稼ぐ

育む

の政策分野を、「健康」の視点から推進して行きます。

暮らす

超高齢化時代にあって、誰もが安心して地域社会で暮らし続けることができるため、健康づくりと支えあいの仕組みづくりを市民の皆さんと共に推進して行きます。また東日本大震災が我々に突き付けたエネルギー問題は今後の社会の大きなテーマです。健康的なエコタウン本庄の実現に向けチャレンジします。

具体的施策



- ①老朽化した保健センターに代わる、市民の健康づくりを推進する新しい施設建設に着手
- ②市民・行政・社会福祉協議会の協働による地域福祉計画の推進
- ③夜間小児救急・二次救急の受け入れ体制の確保
- ④児玉分署・本庄消防署の建て替え
- ⑤市民の健康づくりに資する空間(公園など)の整備や、交通環境の整備(自転車などの推奨)
- ⑥成年後見人制度の充実
- ⑦防犯灯のLED化
- ⑧避難所の機能強化(エコ化)
- ⑨小型廃家電回収を開始

稼ぐ

日本全体の生産年齢人口が減少する中、本庄市の持つポテンシャルを生かし、更なる企業誘致と雇用の拡大をはかります。健全な農業経営の基盤づくり、健康志向の観光開発、既成市街地の様々な課題や老朽化したインフラの維持管理に取り組み、人口減少時代にあっても社会増が見込める健全な都市経営にチャレンジします。

具体的施策



- ①中心市街地活性化計画、都市計画マスタープラン等に基づき、既成市街地の様々な課題にチャレンジ
- ②本庄早稲田の杜地区の更なる企業誘致、土地活用の推進
- ③新幹線停車本数の増加実現(将来は熊谷駅並みに)
- ④フードバレー本庄構想の推進 食品系工場の集積 産業観光コースの実現
- ⑤農業経営基盤の強化 新しい土地改良事業や農業水利事業の推進
- ⑥市民による健康志向の観光地づくりへの支援
- ⑦公共施設再配置計画の策定
- ⑧橋梁長寿命化など施設維持管理
- ⑨本庄市のPRを推進(祭りなどの伝統、歴史や文化財などに加え、新しい本庄市のイメージアップを)

育む

日本の健全な再生は教育から。今後とも学校施設の環境充実と、市民みんなが学べる生涯学習のまちづくりを進めます。東京オリンピック・パラリンピックを見すえ、スポーツ・レクリエーションへの障害者の参加を推進します。超高齢化社会を支える健全な人づくりをみんなで進めましょう。

具体的施策



- ①公立小中学校へのエアコンを設置
- ②市民プラザ跡地複合施設を、文化・生涯学習・まちづくりを担う人づくりのメカニズムに
- ③新たに児玉総合支所に設置する塙保己一記念館の活用、児童館の活用
- ④子ども・子育て支援事業計画の策定
- ⑤スポレクフェスタなど、スポーツ、レクリエーション事業の更なる充実
- ⑥早稲田大学との連携による生涯学習の更なる推進
- ⑦旧本庄商業銀行レンガ倉庫の市民との協働による活用
- ⑧図書館の改修・拡張
- ⑨競進社模範蚕室などの文化財の活用(富岡製糸場などの歴史遺産群との連携)

暮らす

安全で安心して暮らせるまちづくり

①福祉の充実

- ・筋力アップ教室(21年度末19教室→25年度52教室)など介護予防のための各種教室を大幅に拡大
- ・就労支援センターの設置により、障害者の働く機会と職場への定着の支援を推進
- ・災害時に援護が必要な方々への避難支援制度を新設



②救急医療体制の確保

- ・休日急患診療所の診療時間拡大
- ・夜間救急体制を整えるため、深谷日赤への医師の派遣に本庄市も負担
- ・夜間ドクターヘリ発着場を山王堂裏に整備
- ・各種啓発活動(かかりつけ医を持つこと、救急時の対応など)を実施

③犯罪、交通事故対策

- ・防犯ボランティア団体の育成(21年度末70団体→25年度94団体)により犯罪発生件数大幅減少

- ・本庄商工会議所の寄付などにより、防犯カメラの設置を促進

- ・交通安全計画を策定 道路照明灯31基、カーブミラー194基を設置

④防災対策

- ・消防団ポンプ車などの買いかえ(8台)、器具置場などの整備(9か所)
- ・東日本大震災への対応(帰宅困難者・避難者の支援、給食・農産物・水道、校庭などの放射能対策を行う)
- ・新たな防災体制の推進(地域防災計画の改定、新しい防火水槽の設置、企業・団体等と災害協定を締結)

⑤公園の整備促進

- ・既存の公園の充実(総合公園に大型遊具設置、市民プール跡地に人工芝の多目的グラウンド整備、若泉運動公園遊歩道・トイレ整備など)

- ・新規の公園整備(公家塚・薬師堂公園、第一金屋公園、千本桜公園、塙保己一公園、桃花木公園、五十子ふれあい公園、長沖古墳公園、マリーゴールドの丘公園)

⑥住環境・交通環境の整備促進

- ・国交省の交付金を活用し、整備の遅れている道路の側溝・舗装・改良工事を各地で推進

- ・児玉南土地区画整理事業の完了

- ・橋梁長寿命化の点検、整備方針を策定し、各地域の橋の修繕工事を開始

- ・公共下水道事業の推進(整備人口21年度末40,565人→24年度末42,916人) 農業集落排水事業の推進

- ・総合交通計画を策定し、デマンド交通「はにぽん号」「もといずみ号」、本庄駅一本庄早稲田駅間のシャトル便

- 「はにぽんシャトル」の運行開始 コミュニティサイクル社会実験の実施

⑦環境にやさしい社会づくり・エコタウンの推進

- ・環境宣言、エコタウン計画にもとづき、環境への配慮とエネルギー地産地消の各事業に取り組む

- ・太陽光パネル設置補助数(21年度末17基→24年度201基) HEMS設置 省エネ改修補助を推進

- ・本泉地区の環境問題に取り組む(旧産廃施設跡地の解決に向けて)

- ・エコバック、マイバック運動推進 自治会や事業者と協働で拠点回収所を設置

⑧市役所サービスの利便性向上

- ・コンビニ納税スタート

- ・パスポート申請窓口を市役所に開設

- ・法律相談、消費相談などの実施日数を増やす

- ・オンラインで申請や届け出ができるシステムの導入

- ・市のホームページリニューアル

暮らす

●前回選挙の公約

・消防庁舎の建設に取り組みます→一部達成

(児玉郡市広域消防の新消防本部庁舎の建設着工(25年10月))

・水環境の再生に取り組みます

→一部達成 繼続

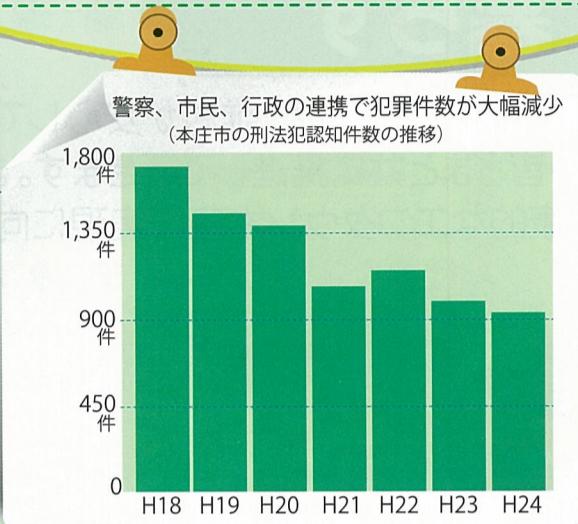
(合併処理浄化槽への補助22年度~25年度116基)

県の「川のまるごと再生プロジェクト」推進

各団体機関の協力で元小山川の浄化が進む

・小児高度救急医療センターの確保を目指します→継続

(深谷日赤の機能強化への負担、児玉郡市の実情にあった医療体制の確立について県への要請実施、群馬県の病院との連携を進める)



稼ぐ

活力ある経済基盤づくり

①優良企業の更なる誘致

- ・赤城乳業本庄千本さくら5S工場の開業(22年2月)

- ・カインズ本社が本庄早稲田駅南口に高崎市から移転開業(24年10月)

- ・ナック クリクラ事業(宅配水)メガプラントが着工(25年5月)

- ・フードバー一本庄構想の推進

②景気対策の推進

- ・市独自の中小企業緊急運転資金融資を実施(利用者170件、5億1470万円、利子補給1116万円)

③本庄早稲田の杜づくりの推進

- ・22年10月のまちびらき記念式典以降、順調に開発が進み、土地区画整理事業は26年3月完了予定

- ・保留地の分譲が進み、企業誘致、宅地開発が進む 25年11月現在、保留地処分66.7%

- ・地権者組合による大型商業施設の誘致成功 ベイシアゲート本庄早稲田オープン

④農業の振興

- ・有機100倍運動、環境保全型農業による安全安心な農産物生産を推進

- ・新規就農者35人(21~24年度)

- ・人・農地プランの作成

- ・遊休農地解消に向け 農業委員会とのタイアップ 実態調査と借受人のあっせん

- ・有害鳥獣対策事業に着手

⑤国道17号バイパス(本庄道路)事業化の促進

- ・建設促進期成同盟会会長として、議会特別委員会とも連携し国県への強力な要請活動を実施

- ・第一期工事(神流川橋から)が着手される(25年11月起工式)

⑥本庄市のPRと観光の推進

- ・本庄市マスコット「はにぽん」が市と本庄商工会議所、児玉商工会、JA埼玉ひびきの、市民との協働により誕生(22年10月) 市民に愛されるマスコットとして定着

- (FBページ、各種はにぽんグッズも誕生)

- ・本庄フィルムコミッションの活動が実を結び、映画「Jazz爺MEN」等本庄ロケの映画が制作される

- ・「笑う盾持ち人物埴輪」パリでの美術展に出展 はにぽんの人形をパリ市民にPR

- ・武州本庄つみっこ研究会が発足 各種大会、イベントに参加し本庄市のB級グルメをPR

- ・児玉商工会日本神社プロジェクトに協力 必勝祈願のだるまを贈呈

- (サッカーワールドカップ日本代表 東京五輪招致活動)

- ・市内各所観光・文化財等案内看板のリニューアル

- ・各種行事、お祭りなどのPR 自治会連合会による観光ガイドマップの作成

- ・赤城乳業千本さくら5S工場などの産業観光がスタート

⑦行財政改革の推進

- ・土地開発公社の約18億円の負債(18年度)を24年度で全額返済

- ・個人住民税収納率の上昇 23年度88.7%→24年度91.2%の伸びは県内1位に

- ・電子入札、入札の総合評価方式の導入など、透明性、効率性が高く、公平な契約を推進

- ・指定管理者による公園などの公共施設管理の推進

●前回選挙の公約

・地元雇用アップ大作戦→継続

(企業誘致の成功 ハローワークとの連携)

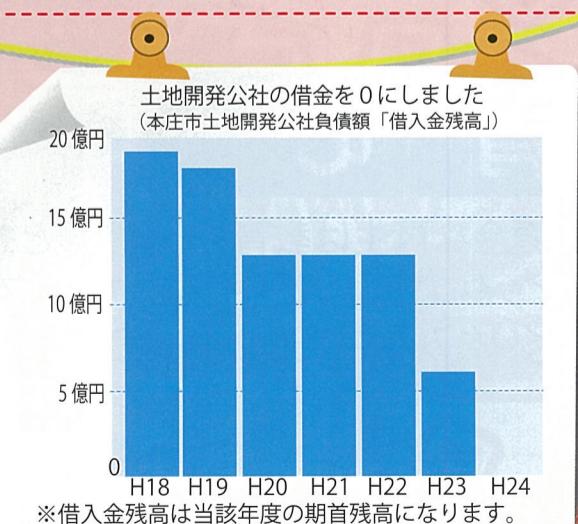
・まちなか再生と人口の定住化を促進→継続

(「都市計画マスターplan」の策定により、まちなか居住推進を市の方針に位置付け 定住促進のための新築住宅取得奨励金の創設(25年4月) 空き家条例の施行(25年10月))

・本庄早稲田駅への交通アクセスの整備・充実

→達成予定

(国道462号本庄早稲田駅入口交差点のアクセス改善工事が本年度中に着手予定)



稼ぐ

皆様と共に歩んだ4年間 本庄市政の実績



育む

心豊かで健やかな人づくり

①教育環境の整備と学力向上

- ・学習生活支援員(旧ふれあいボランティア)21年度末25人→25年度35人
- ・学習補助教員(旧学習支援員)21年度末4人→25年度7人
- ・秋平、仁手、旭、中央小の校庭芝生化
- ・学校給食の充実(地産地消の推進、メニューの改善(給食センター))

②学校施設の耐震化

- ・市立東中を除く全公立小中学校の校舎の耐震化終了
- ・市立東中を除く全公立小中学校の体育館の耐震化26年度で終了予定
- ・市立東中改築工事実施中

③市民と協働の学校支援

- ・全ての公立小中学校で学校応援団が設置、学校ファームの取り組みを実施
- ・中学生社会体験チャレンジを実施(25年度現在187事業所が協力)

④子育て支援の推進

- ・いずみ保育所の完成 子育て支援拠点事業を充実 共和保育所の民営化
- ・子ども医療費の支給対象を中学生まで拡大
- ・民間保育園の建て替えへの補助(4園)

⑤早稲田大学との連携

- ・市内小中学校と連携した河川調査、国際理解教育、環境教育などの充実
- ・本庄早稲田の杜まちづくりプロジェクトの推進
- ・旧本庄商業銀行レンガ倉庫保存活用事業の推進
- ・子ども大学ほんじょうの開校と充実
- ・職員研修の充実

⑥市民一人1スポーツの推進

- ・川淵三郎塾によるスポーツ・レクリエーション事業の充実
- ・参加団体運営型の新しい祭典「スポレクフェスタ」の定着(25年度参加者4300人)
- ・クロスカントリー&ハーフマラソン大会の開催、ウォーキングの奨励

⑦生涯学習の推進

- ・早大との連携により市民総合大学を充実
- ・JFAこころのプロジェクト「夢先生」を市内小学校で開催
- ・子ども読書活動推進計画に基づく事業推進

⑧人権を尊重する人づくり

- ・DV防止基本計画策定 配偶者暴力相談支援センターの設置
- ・人権教育研究集会 辛坊治郎、渡部陽一、いっこく堂、五木寛之、野口健の各氏講演会開催

育む

●前回選挙の公約

・子どもの発達を促す支援の充実

→一部達成 繼続

(発達教育支援センター「すきっぷ」開設 関係機関との連携強化
早期把握、早期支援、一貫した継続支援に努める)

・市民の手で作った

「親の学習手引書」「親子手帳」の活用

→一部達成 繼続

(他の自治体にない、独自手引書、手帳を使っての親の学習講座の開催)

・木のぬくもりのある校舎の整備→達成予定

(完成した児玉中校舎、東小新3号館、工事中の市立東中の教室、廊下に、県産をはじめとする木材使用)

